

## 2024-2025 第 14 回理事会 議事録要旨

開催日時	令和 7 年 10 月 22 日 (水)	20 : 00~21 : 08
開催場所	Zoom 会議	
1 理事総数	19 名	
1 出席理事	16 名	
	千田 健一	青木 雄介 内田 敏朗 及川あずさ
	釜谷 理恵	上津 孝光 菅原智恵子 杉野 文野
	谷崎 瑠珂	恒松 健児 友利 杏奈 長倉 純平
	前畑 順一	山口 俊昭 吉野谷綾子 和田 潔
1 欠席理事	3 名	
	曾良中研司	田淵 英孝 平野 博文
1 出席監事	1 名	
	久保 直生	
1 欠席監事	1 名	
	中村規代実	

なお、理事及び監事のうちテレビ会議システムによる出席者は以下のとおり

千田 健一 (宮城県気仙沼市)	青木 雄介 (東京都世田谷区)
内田 敏朗 (神奈川県横浜市)	及川あずさ (奈良県奈良市)
釜谷 理恵 (埼玉県さいたま市)	上津 孝光 (東京都港区)
菅原智恵子 (東京都板橋区)	杉山 文野 (東京都新宿区)
谷崎 瑠珂 (東京都目黒区)	恒松 健児 (岡山県倉敷市)
友利 杏奈 (東京都港区)	長倉 純平 (京都府京田辺市)
前畑 順一 (神奈川県川崎市)	山口 俊昭 (山形県東置賜郡)
吉野谷綾子 (神奈川県藤沢市)	和田 潔 (東京都墨田区)
久保 直生 (埼玉県さいたま市)	

上記のとおり出席があったので、本理事会は適法に成立した。

### 【会長挨拶】

本日は急遽皆様にお集まり頂きました。特に挨拶はありませんので、早速議事に入らせて頂きます。

続いて、定款第 26 条に従って千田会長が議長となり、理事会の開会を宣し、議案の審議に入った。なお、議事録署名人は山口理事が指名された。

### 【審議事項】

第 1 号議案 全日本選手権の開催についての件 (提案者) 理事 前畑 順一

議長は、上記議案について前畑理事に提案説明を求めた。

前畑理事より、全日本選手権大会の開催要項については先の理事会で決定していたが、その後の現地調査の結果、経済的にまた設営・運営上でもいくつか問題点が判明しこのまま続けるのは困難と思料し、代替策として日程は変わるがライジングカップ用に確保してある駒沢体育館で開催してはどうかという提案である。現行プランで行っても代替案で行っても時間がなく最終決断となるため、緊急理事会を開催頂いたとの説明があった。

上津理事より、元々全日本の会場がないので港区の会場を何とかならないかと言われ、交渉の上他の団体を追い出して何とか確保した背景がある。練習場とか会議室も1~2時間使えないが、他団体を排除して最大限確保した結果である。

港区は当初30~50人でやろうとしたが、サブアリーナを使っても良いといわれ人数が増えた経緯にあるが千人にはならないとの発言があった。

会長より、調査の結果、財政的にも厳しく駒沢に移せないかとの発想であるが、開催日を12月の第2週に移すことについてはどうかとの投げかけがあった。

内田理事より、財務担当としては300万円位駒沢でやるより費用が多くかかることが分かった。また、審判の確保が困難で港区での実施は物理的にも厳しい。つまり、金が足りない、人が足りない、設備が狭いとの発言があった。

青木理事より、選手はもう港区の予定で動いている。駒沢の日程では宮牌、海外遠征でタイトであり、何かトラブルがあると出られなくなるかも知れない。ジュニアの大会が12月中旬にあり全日本に出られなくなる。日程の変更は困るとの発言があった。

千田会長より、各役員から意見を聞いたが、港区でやる意見が多かった。港区でやることで採決をとったところ、賛成14名、棄権2名（和田理事、前畑理事）となり港区で開催することで決定した（但しできるだけお金をかけないことを条件）。

以上をもって、議案を終了したので、議長は21時18分に閉会を宣し散会した。上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第28条第2項に基づき出席した代表理事、監事および議事録署名人がこれに記名押印する。